

一般社団法人京知産創の森 令和7年度事業計画

本法人は、平成30年11月に、京都府、京都市及び産業界のオール京都体制により、知恵の交流と融合により新たな価値の創造を図るとともに、産業施策を戦略的に推進し、京都経済の発展と活性化に資することを目的に設立されました。この間、産学公連携の推進、スタートアップの創出及び成長支援、スマート社会等の実現、さらには産業人材の育成支援や交流と協働による新たな価値創造の推進に取り組んでまいりました。

令和7年度については、これまでの歩みを礎に、柱となる事業を再構築し、京都経済の発展と活性化のため、企業の成長段階に応じた支援や多様な経営課題への対応など、時代に対応できるより実効性のある事業に取り組んでまいります。

まず、産学公連携の推進については、オール京都の産学公金のネットワークを活かし、出口重視(事業化やスタートアップ創出等を意識した産学連携支援)の観点も踏まえ、オープンイノベーションの更なる推進、大学が実施している地域連携への支援、関係団体との連携による情報交換、情報発信に資する取組を進めてまいります。

スタートアップの推進については、スタートアップの創出やグローバル展開を目指すスタートアップへの支援等に取り組むことで、スタートアップの成長ステージに即した支援策が提供できるエコシステム構築に向けて、京都スタートアップ・エコシステム推進協議会構成団体や、大阪、兵庫等のエコシステムコンソーシアムと連携しながら取組を推進してまいります。

スマート社会の推進については、中小企業等に対して、イノベーションの促進やエネルギーコスト削減、IoTやAI等の先端技術を活用した生産性の向上等につながるDX(デジタル・トランスフォーメーション)化への支援を行うとともに、脱炭素経営の裾野をさらに広げ、産業支援機関とのネットワークを強化してまいります。

さらに、これら3つの柱を支える土台となる産業人材育成支援、及び新たな価値創造の推進については、交流と協働の象徴である KOIN を中心に、若年層を中心とした利用者間のコミュニティ形成を引き続き支援するとともに、学生の活動拠点としてのコワーキングスペースの機能強化を図ります。さらに、アイデアレベルから企業の事業段階に応じたきめ細やかなアドバイスを行う「KOIN相談窓口」の内容を充実させるなど、他の産業支援機関、金融機関等との情報共有や連携を行いつつ、次代の京都産業を担う人材を育成するための支援等を実施してまいります。

令和7年度においても、各部がより一層連携し、法人が一丸となって、本法人に集う様々な人に寄り添い支援するとともに、未来と世界につながるイノベーションが生まれる場や機会の創出に努めてまいります。

1 産学公連携の推進に関する事業

(1) 産学公連携によるオープンイノベーションの推進

① 産学公連携の機会創出

企業と大学を、企業側から及び大学側からの双方向で結び付ける相談窓口を設置・運営するとともに、京都商工会議所との連携、京都工業会の協力により実施している企業の研究開発・協業ニーズ発表会

「Open Innovation Showcase in KYOTO」等、大学・企業等のマッチングの機会や産学公連携に係る交流の場を創出することなどにより、産学公連携・オープンイノベーションの推進に繋げる。

② 産学公連携による研究開発の事業化支援

令和6年度に続き、大学等(若手研究者など)の事業化・出口を意識した研究開発について助成金の交付などにより支援を行うことで、新しい社会的価値の創出につなげていく。

また、令和6年度に設置した研究成果の起業・事業化への相談に対応するための大学研究者向け事業化サポート窓口を引き続き運営し、研究シーズの社会実装化を促進していく。

(2) 地域連携への支援

令和6年度に続き、地域連携を効果的に実施するための大学・学生への助成を行う。助成に当たっては、地域の課題解決や地域活性化に向けた中長期の視点での取組も支援するため、複数年度に亘る助成も行う、持続可能な地域連携につなげる。

(3) 関係団体との連携による情報交換、情報発信

国機関・府・市をはじめとする産学公連携支援施策等の情報発信をはじめ、京都産学公連携プラットフォーム会議の参加団体を中心に交流の機会を設けることにより相互の情報交換を促進する。

更に、KOINを活用して大学等が実施するイベントを共同で開催することで、情報発信・相互交流を図っていく。

2 スタートアップの創出及び成長支援の推進

(1) スタートアップ支援の充実

① スタートアップの創出に向けた支援

スタートアップが創業時に必要な知識を学ぶセミナーの開催、弁護士・公認会計士による専門家相談やベンチャーキャピタルによる壁打ち相談を通じ、創業前後の様々な課題へ対応するとともに、ディープテック等理系分野における研究成果の起業・事業化を促進するための研究者向け起業相談窓口やコミュニティを形成するためのプログラム、外国人起業支援体制の充実により、スタートアップが創出しやすい環境を整備する。

② スタートアップの成長支援

グローバル展開を目指す京都のスタートアップと海外エコシステムプレイヤー(投資家、事業会社、政府機関等)との接続強化等により、エコシステムのグローバル化を促進する。また、IPOやM&A等出口戦略を支援するセミナー等、スタートアップ企業の成長ステージに即した取組を通じ、エコシステムの拡充に取り組む。

③ スタートアップに関する情報の発信

スタートアップに関するニュースやイベント開催及び補助金やアクセラレーションプログラムの募集に関する情報を、Webサイト及びSNSを活用して発信するとともに、グローバルスタートアップカンファレンスへの参加により、京都のエコシステムの魅力を国内外に発信していく。

(2) 京都スタートアップ・エコシステム推進協議会の運営

京都のスタートアップの現状や課題の共有を図るとともに、スタートアップ企業の成長ステージに応じた支援メニューの横断的な活用を通じて、京都のスタートアップ・エコシステム活性化を促す。

(3) 京阪神スタートアップ・エコシステムの連携

京阪神のスタートアップ・エコシステムコンソーシアムとの連携強化により、各地の支援機関、大学、金融機関等のリソース相互利用のもと、京都のスタートアップの成長速度を高めていく。

3 スマート社会の実現に関する事業

(1) スマート産業関連の生産性向上

スマート社会実装化促進事業等を通じて、エコ・エネルギー分野の推進や IoT・AI を活用してイノベーションを図る中小企業の支援を行うとともに、京都スマートプロダクト認定製品・サービスについては、企業の情報発信・販路開拓等の支援を強化する。

(2) 中小企業等のDX・イノベーションの促進、省エネ・節電対策

- ① 地域活性化雇用創造プロジェクト受託費を活用したコーディネータ等による伴走支援を通じて、中小企業の業務のDX化、イノベーションの促進と支援対象企業の良質な雇用の創出をめざす。
- ② 2050年のカーボンニュートラル社会の実現に向けて、事業者による温室効果ガスの排出量の規制が強化される流れのもと、中小企業向けの自立型再エネ設備等の設置や高効率機器への改修に対する補助制度、また、専門的知識を持つ診断員を派遣する省エネ診断事業を実施し、中小事業者を支援する。

(3) スマート産業に関わるネットワーク形成

京都エコ・エネ交流クラブ会員やエコ・エネルギー関連及びDX関連事業者とのネットワークの形成、京都府内の中小企業等支援機関との事業の共同実施や広報の連携等の強化を行う。

4 産業人材の育成支援に関する事業

(1) 産業人材育成に係る企画、運営

学生の起業機会の提供やビジネスのゼロイチを生み出す力を養う起業支援プログラム、起業や新規事

業創出の際に必要なスキルアップ支援、その他、産学公連携やスマート社会の推進に関する研修・セミナー等を企画・運営し、オール京都で次代の京都産業を担う人材を育成する。

(2) 多様な主体との連携による効果的な人材育成の推進

他の産業支援機関や教育機関、金融機関等と連携し、次代の京都産業を担う人材の育成を効果的に推進するとともに、人材育成に係る情報共有・情報発信を図る。

5 交流と協働による新たな価値創造の推進に関する事業

(1) オープンイノベーションカフェ「KOIN」の活性化

若手起業家や学生、研究者など、若い世代の利用を促進するため、京都に所在する大学と連携し、起業に興味がある学生団体の活動の場として KOIN を活用するとともに、他大学との交流機会や、様々なビジネスの分野の経験や知見を持つ社会人及びメンターとのかかわりが持てる環境を提供し、学生の活動拠点としてのコワーキングスペース機能の強化を図る。「起業に興味はあるけれど、何から始めてよいかわからない」「起業に興味がある他大学の団体と交流をする場が少ない」など、学生団体へのヒアリング結果から見えたニーズを踏まえ、若年層の利用者獲得と、利用者間のコミュニケーション拡充を目指す。

(2) 起業やスタートアップの発掘・育成と事業展開に向けた支援

オープンイノベーション手法による新事業創出等、若い世代の新たなチャレンジを支援するとともに、起業や社会課題解決など、KOIN に寄せられる多様な相談の受け皿となる各種相談窓口など、相談者の事業段階に応じた伴走支援を充実させ、幅広い相談ニーズに対応し、次の段階へ進む一歩を後押しする。